

カナダ研究の潮流(7)

充実してきた文献リストと総合資料

デビッド・スミス

カ ナダ人によるカナダ研究の文献を紹介してきたこのシリーズも、今回で最終回を迎えた。これまで政治学、歴史学、多文化主義、英仏系問題、経済学、社会学の比較的新しい文献を中心に見てきたが、最終回は、“研究文献リストと総合資料”をもって締めくくりとしたい。

政府と民間の文献資料

研 究者にとって、資料をどうやって見つけるかは、非常に重要な問題である。とくに言葉の違う外国を研究する場合、資料の探索は大きな難問となってくる。その意味で、近年、すぐれた文献目録が何点か出されたことは、カナダ研究者にとって大きな朗報といえよう。J. L. Granatstein と Paul Stevens 編 *Canada Since 1867: A Bibliographic Guide* (Toronto: Hakkert, 1974) は、政府関係資料を除く民間出版物の案内書。資料ごとにつけられた解説が非常に便利で、カナダ研究者には不可欠の文献リストである。

膨 大な政府関係資料の分野を扱ったのが O. B. Bishop の *Canadian Official Publications* (New York: Pergamon Press, 1980)。この本は文献リストというより、むしろ官公庁の文献資料がどのようにして作成されているかという点についての解説書、といった方が正確かもしれない。

地域別の目録

地 域別の文献目録も、出版されだした。カナダ西部4州については Alan Artibise 編 *Western Canada Since 1867: A Select Bibliography* (Vancouver: University of British Columbia Press, 1978)、オンタリオ州については Olga B. Bishop 編 *Bibliography of Ontario History 1867-1976: Cultural, Economic, Political and Social* (Toronto: University of Toronto Press, 1980) が、すぐれたリストとしてあげられる。

ケ ベック州については、Rene Durocher と Paul Andre Linteau の編纂した *Histoire du Quebec: Bibliographie Selective, 1967-70* (Trois Rivières: Editions Boreal Express, 1970) が、網羅性には欠けるが、便利で役に立つ。大西洋岸諸州の文献リ

ストは単行本としてはないが、雑誌 *Canadian Historical Review* の常設欄“Recent Publications Relating to Canada”が参考になる。

以 上にあげた地方別のリストのほかに、テーマ別の文献リストもたくさんある。スペースの都合上、1冊だけの紹介にとどめよう。Grace Heggie 著 *Canadian Political Parties, 1867-1968: a Historical Bibliography* (Toronto: Macmillan, 1977) は、カナダの政党に関する文献を単行本から論文・記事に至るまでほぼもれなく載せた貴重な文献目録である。

総合的基礎資料

カ ナダ研究者にとってきわめて価値の高い基礎資料として、次の3点をあげておこう。

(1) *Canadian Annual Review of Politics and Public Affairs*. 通称 CAR と呼ばれ、その年の主な出来事を連邦レベル、州レベルにわたって記録、解説した資料集である。歴代編集者の中では、John Saywell の名が高い。今世紀初頭に発刊され、1935年までは E. Castell Hopkins が編集にあたったが、この期間の CAR は、内容が現在よりずっと詳細にわたっており、当時のカナダの事件や人物などの姿を研究するには不可欠の資料となっている。

(2) *Canada Year Book*. 少なくともカナダ全般のことについては、最も整った統計資料である。詳細にわたる統計についてはカナダ統計局の出版物を見る必要があるが、概略なら本書で十分間に合う。

(3) M. C. Urguhart および K. A. H. Buckley 編 *Historical Statistics of Canada* (Toronto: Macmillan, 1965)。いろいろな分野の統計を載せていると同時に、統計関係の文献目録としても有用。

カ ナダ研究の文献目録はまだまだ続く。以上にあげたのは、あくまでも筆者の関心から選んだほんの一例である。そして最後に、文献リストそのものを目録ふうに綴った Dorothy E. Ryder 編 *Canadian Reference Sources* (2nd ed.; Canadian Library Association, 1981) を紹介して、私のカナダ研究書案内を終えたいと思う。(完)

(サスカチュワン大学教授)